令和５年度第１回白石町総合教育会議　会議録（要旨）

１　日時　令和５年５月１８日（木）　９：００～１０：００
２　場所　白石町役場　３階　大会議室
３　出席者　【構成員】
白石町長　田島健一
教育長　北村喜久次
教育長職務代理者　松尾博之
教育委員　堤王宏
教育委員　川﨑姿子
教育委員　一ノ瀬ひとみ

【事務局】
副町長　百武和義
企画財政課　課長　坂本博樹
企画財政課　課長補佐　筒井直
企画財政課　政策調整係長　溝口篤
企画財政課　政策調整係　主事　武富誠弥
企画財政課　政策調整係　主事　山下彩子
学校教育課　課長　出雲誠
学校教育課　新しい学校づくり専門監　永石敏
学校教育課　主任指導主事　梅木純一
学校教育課　課長補佐　吉原浩
学校教育課　課長補佐　山下将史
学校教育課　指導主事　下平博明
学校教育課　指導主事　武富通
学校教育課　新しい学校施設係長　池田敏雄
学校教育課　新しい学校づくり係長　本山雅章
学校教育課　新しい学校づくり係　主査　石隈あつみ
生涯学習課　課長　矢川靖章
生涯学習課　課長補佐　永尾宗紹

【傍聴者】　４名

４　会議次第

１　開会

２　町長挨拶

３　テーマ

（１）小学校再編計画（案）について

【資料１】白石町立小学校再編計画（案）

【資料２】住民説明会　結果報告

【資料３】パブリックコメント　結果報告

【資料４】有明地域新設小学校「新しい学校づくり準備委員会」の設置について（案）

【資料５】白石地域新設小学校基本構想・基本計画策定委員会設置要綱

（２）その他

４　閉会

≪以下議事録本文≫

１　開会

〇筒井企画財政課長補佐

ただいまから、令和５年度第１回白石町総合教育会議を開会する。

続いて、田島町長から挨拶をお願いする。

２町長挨拶

〇田島町長

前回の総合教育会議において、教育委員の皆様と協議を行い、白石町立小学校再編計画（案）を作成した。

この小学校再編計画（案）について、令和５年２月から３月にかけて、町内３地域で住民説明会を行い、延べ１４７名の方にご参加いただいた。また、先日パブリックコメントを募集したところ、１件５項目のご意見をいただいている。

今後はいただいたご意見も踏まえ、小学校再編について具体的な検討を行っていくが、引き続き、協議内容や結果について、住民の皆様に丁寧な説明を行いながら進めていく。

本日は、小学校再編について委員の皆様と協議を行うことで、本町のより良い教育整備につながればと望む。

〇筒井企画財政課長補佐

それでは、本日のテーマに入る。田島町長より進行をお願いする。

〇田島町長

それでは、本日のテーマ、白石町立小学校再編計画（案）についてお話させていただく。事務局より、住民説明会等これまでの経過とそれを踏まえた最終計画案について説明をお願いする。

〇北村教育長

担当の説明の前に教育長として一言発言させていただく。

前回の総合教育会議において、小学校再編計画（案）の確認をした。それを基に昨年度の２月２４日から３月２２日の間に、有明地区と福富地区で各２回、白石地区で３回、計７回住民説明会を行った。また、その後にパブリックコメントを募集した。おおむね小学校再編計画（案）について合意いただいていると思う。

今後、庁議や議員説明会、小学校設立準備委員会と進んでいく。意見交換をよろしくお願いする。

〇本山新しい学校づくり係長

それでは、私のほうから説明を行う。

昨年度の総合教育会議の後、住民説明会やパブリックコメントの意見をうけて、小学校再編計画（案）の修正を行っている。再編計画（案）の前に住民説明会とパブリックコメントの結果の概要を説明する。

【資料２】２ページと３ページ。計７回説明会を行ったところ、延べ１４７名の参加があり、延べ７５件の意見があった。学校運営に関すること、教育に関すること、学校施設、通学支援、地域と学校の連携、まちづくり等、多種多様な質問があった。これに対し、再編計画（案）に沿った内容で回答を行っている。

また、学校がなくなる喪失感がある、少人数できめ細やかな指導がいいんじゃないか、福富小は現状維持ということで他の新しくなる２校に取り残されるのではないか、等心配の声もあった。しかし、大きな反対の声はなく、おおむね理解は得たととらえている。こうした結果を踏まえ、再編計画（案）のとおり、８校を３校に再編のまま、事務局や教育委員会で協議の上、一部再編計画（案）を修正している。

続いて、再編計画（案）の修正内容について説明する。大きく変わっているところはなく、表現の修正等になっている。

【資料１】６ページの 186 行目、「多様な学びの場の保障」。「学び場」となっていたところを「学びの場」という表現に修正した。その下の 207 行目にかけて、表現の修正は行っているが、内容変更はない。

次に７ページ 235 行目「遠距離通学者への支援」について。241 行目～242 行目「それぞれの地域の地理地形等の実情を考慮しながら」の１文を追加している。

通学支援を行うにあたって、まずは距離を考慮するが、距離だけではない、地域の実情や地理的な実情等があるため、この１文を追加している。

次に８ページ 250 行目「通学区域の検討」。もともと「自由校区の検討」としていたところを「通学区域」へ変更している。自由校区というのは子供たちのため、というのが大前提だが、距離だけでなく、地域の実情も踏まえて自由校区等の設定を検討するということで、表現を修正している。

次に 10 ページの開校時の児童数の予想について。令和８年度の有明新設小学校開校時の児童数の表の下に、令和 12 年度の児童数予想を追加している。網掛け部分は、現在出生していない学年のデータであるため、推計値を記載している。

12 ページ 362 行目。前回は令和８年度の福富小学校の児童数を載せていたが、やはり計画の最終年度の数値を載せるべきと考え、令和 12 年度の児童数予想に変更している。また、371 行目に令和４年度の出生者数がわかったため追加している。令和４年度は 95 人と 100 人を切っている。

13 ページ以降、参考資料の児童数と出生者数を最新の数値（令和５年５月１日現在）に変更している。23 ページ、白石町立小学校の児童推移に令和５年度の数値を追加している。令和５年度の合計値は 1,049 人で、令和４年度から 45 人減。昨年時点の予測は計 1,045 人であったため微減している状況。その他の数値も最新の情報に修正している。

〇田島町長

ただ今の説明について何か意見はないか。

〇堤教育委員

住民説明会からパブリックコメントの結果を見て、特に２校案から３校案へと答申からの大きな変更はあったが、おおむね住民のコンセンサスは得られたという理解で良いと思う。中学校の住民説明会と比べると、小学校の住民説明会の参加者の方が多いと予想していたが、むしろ少なかった。令和元年の審議会から５年経過しているので、少し町民の皆さんも学校再編疲れがあるように思う。そうすると、細かい住民の声が拾いにくくなってくると今後考えられるので、そこが少し心配。まだ折り返し地点にも来ていない状況で、住民の関心が薄くならないよう維持していくのが課題。特に白石地域の新設小学校はまだ場所も決まっておらず、７年先のことなので、保護者さんも、まだ当事者意識が芽生えていない。その辺も留意していきながら進めていかなければと思う。

〇田島町長

今の意見はもっともだと私も思う。学校づくり準備委員会やこれまでやって

きたことも、ずっと継続してやっていく必要があるのではないか。令和 5 年に作った計画を令和 12 年に実行するとなったら、時代遅れといわれるかもわからない。こども家庭庁ができたり、社会情勢も変わっていくかもしれないので、それも踏まえてずっとやっていかなければならないと思う。

〇松尾教育委員

意見というよりお願い。住民説明会でも、福富小学校が埋もれていってしまうのではないかと意見があったが、魅力ある学校づくりをしてもらいたい。特に、白石地区が新設されるので、流れていかないように、今から準備をお願いしたい。

〇田島町長

私もあちこちから話で聞いたが、小学校が 8 校から 3 校になるということで、地域の方も子供たちの姿を見て元気をもらっているという方も多かったと思う。町長部局としても人口減少に向けての対策をやっていかなければならないし、住みやすさや子育てのしやすさを PR していかなければならない。

今後どうなっていくのか見えないところが多いが、現実を見ながら、白石町らしさを小学校再編の中で見せていくようにしていかなければ。どこの市町も少子化に向けた対策をやっていると思うが、このタイミングで 8 校から 3 校になるというところで他の市町とは異なるので、考え方をしっかりしなければならない。

白石町では、平成 27 年からコミュニティスクールを進めていただいているおかげで、町内に浸透していて、町民さんの教育に対する意識は高いと感じている。常に町民さんへの意見にも耳を傾けながら、再編を行っていかなければと思う。

〇北村教育長

コミュニティスクールを 11 校すべて実施しており、8 年目となった。「ひっきゃで育てよう、白石のおおどぼう」と目指す子供像を掲げているが、それを本当に根付かせるためにはまだまだ努力が必要。

今回の計画も、答申とたがえて 3 校案となったのだが、やっぱり小学校は中学校とは異なり、地域コミュニティの核としての性質が強い。読み書き等の知的能力もだが、不登校やいじめの問題しかり、人といかに関わっていくかの社会力がより必要。今後のまちづくり活性化のために、こういう方向に踏み切ったので、コミュニティスクールをさらに進めて、それぞれの学校でも独自色を出していただきたいと思う。

第 1 回の校長会でも、努力目標として話したが、家族に小学生がいなくても、学校の行事にスタッフとして関わったり、登下校の見守り隊等、地域全体で子供

たちを見守る体制が全ての学校で整ったらいいと願っている。白石は住民の皆さんが子供たちを見守っているから、変なことはできないと思われるように、町全体で犯罪の抑止力を育む。

子供たちのために何ができるか、家庭と地域で連携できるのは何か、とよく分析して、コミュニティの充実を図っていただきたい。

教育委員会では青パトの巡回を交替でしていただいている。例えば福富地区や北明地区の一部等、集団下校する途中で別れて一人になってから、家までかなり距離のあるところがある。こういう心配なところをぜひ見守り隊で分担して、地域全体で子供たちを見守っていただきたい。結論として、コミュニティを充実させるためにまさにひっきゃで知恵を出していかなければと考えている。

〇一ノ瀬委員

保護者や地域住民は通学方法に大きな関心がある。今度の再編計画（案）では、何度も検討されて、自由校区や通学支援についてとてもいい表現になっていると思った。資料も新しくなったことで説得力のあるものになっている。歩いて登校する子供たちの中には、学校が近くなったがゆえに、国道を渡らなければいけない場合が増えるため、保護者も心配している。計画（案）では、距離が遠いという理由だけがバス通学とはならず、地域の実情や地理地形も考慮する、と説得力のある表現になっている。今後とも準備委員会の中で細かく詰めていってもらいたいと思う。

〇川﨑委員

自分の子供が小学生だが、再編計画で令和 12 年開校となったときに、もう自分の子どもは卒業しているな、と思った。周りの友人と話したときに、じゃあ令和 12 年にかかる子供たちは今何歳かと考え、年中さん以下のお子さんだとわかった。年中以下の子どもの保護者は、不安や焦りを感じている一方で、年長以上の子どもの保護者は、ほっとしているといった感じで、一緒に考えようという空気にならなかったのが残念。でも、今の小学生の保護者さんは中学校再編のことを一生懸命考えていたこともあって、堤委員が言われたように、少し疲れているのかと思った。当事者意識を作っていくというのであれば、保育園生や幼稚園生の子どもがいるご家庭が参加できる話し合いの場が必要と思う。要望よりも不安の方が多く出てくると思うので、そういう声を聞いて一緒に考えていくとまた違うのかなという印象を持った。

〇田島町長

準備委員会のメンバーを今事務局で考えている。保護者以外にも地域の方に入っていただくが、年配の方もさることながら、まだ園児や幼児のお父さんお母さんにも入っていただいた方がいいのでは、と事務局に検討するよう言っている。あと 6 年も先なので、準備委員会のメンバーも変えていきながら進めていくべきではないかとも思う。

他に意見はないか。（特に意見の声がなし）

この再編計画（案）が最終案となり、これで策定完了という段階になる。事務局から今後のスケジュールの説明をお願いする。

〇本山学校づくり係長

この後のスケジュールだが、この総合教育会議後、教育委員会を開催し、教育委員会として小学校再編計画（案）を承認していただく。その後、庁議で説明し、承認を得たあと、議員説明会で説明する。その後、町長決裁を受けて、（案）を取って計画の策定となる。計画の策定が完了したら、新しい学校づくり準備委員会の設置に移る。まず有明地域の新設小学校新しい学校づくり準備委員会を設置する。

【資料 4】。令和 8 年度に有明地域の新設小学校を開校することとなる。中学校同様に新しい学校づくり準備委員会を設置し、様々な協議を行っていく。新しい学校づくり準備委員会について、まずは（１）構成だが、地域住民、保護者、教職員からそれぞれ代表者を選出する。この構成については、中学校の準備委員会と同じ。地域住民については 3 小学校区より男女 1 名ずつ、計 6 名。保護者については、3 小学校より男女 1 名ずつ、計 6 名。教職員については 3 小学校の校長、教頭、教務主任、計 9 名。合計 21 名で構成できないかと考えている。

委員会の構成については、先日学校運営協議会で説明したが、その中でも、令和 8 年度開校時に小学生がいる保護者さんに入ってもらった方がいい、という意見が出た。先ほどから出ている「当事者意識」というのが重要だと考えているので、なるべくそのように構成ができたらと考えている。

今年度中に設置をして、今後 2 年間様々なことを協議していく。⑵ 協議項目だが、おおむね中学校の準備委員会と同じ。校名、校歌、校章、校訓、制服等の学校指定備品、スクールバス等の通学支援、通学路の安全対策、閉校・開校行事、PTA 活動等について協議・決定する。また、教職員が中心となって、歴史資料等の保存、教育方針等、校務分掌について検討していく。

協議するにあたって、住民説明会の結果を踏まえて、また計画にある「地域・

家庭・学校が連携したコミュニティスクールの更なる推進」や「小中9年間を見通した発達段階に応じた学びの展開」等に向けて、よりよい小学校になるよう検討していきたい。

○池田新しい学校施設係長

【資料5】白石地域新設小学校基本構想・基本計画策定委員会設置要綱について。令和12年度白石地域新設小学校の開校に向けて、まず基本構想・基本計画の策定業務を委託しました。履行期間は、令和5年4月28日から令和6年6月28日まで。業務の目的は、白石地域の4小学校を統合し、新たに白石地域新設小学校を建設するべく、候補地や導入施設、その規模等を決定するための基本構想・基本計画を策定するもの。計画の策定に関し、意見の交換、調整及び助言等を行う策定委員会を設置するため、本年4月20日に、白石地域新設小学校基本構想・基本計画策定委員会設置要綱を制定した。委員会は20人以内の委員をもって組織する。副町長、教育長、町内関係課の代表者、白石町内の小学校教職員、白石町内小学校通学児童の保護者又は白石町内小学校運営協議会員、議会の代表、地域住民代表、その他町長が必要と認める者を委員として、5月31日までに選出することとしている。

○田島町長

第3条（4）白石町内の小学校教諭、（5）白石町内小学校通学児童の保護者又は白石町内小学校運営協議会委員とある。「白石地域」と「白石町内」では、意味が違うと思うが、有明地域や福富地域の方も含めるのか。

○池田新しい学校施設係長

白石町内と表記しているが、白石地域の4小学校区の方から選出する。

○田島町長

それなら、白石地域と全て表記を変えた方がいいのでは。

○池田新しい学校施設係長

白石町内から白石地域に修正する。

○田島町長

他に意見はないか。

〇堤委員

医療ケア児の支援に関する法律やこども基本法等、ここ数年間だけでも新しい法律ができたり、GIGA スクール等、環境が変わってきているので、きっちり対応しながら進めてもらいたい。学校施設管理指示みたいなものが文科省から出ていて、3〜4 年に 1 回くらい改訂されている。1 年くらい前に改訂されたときに大きく変わったのが、ICT 整備やインクルーシブ教育。インクルーシブ教育は障害があったり、発達支援が必要なお子さんをどう包摂的にみんなと一緒に教育していくか、施設はどう整備していくかというもの。もう一つは大きな災害が起きたときの避難所の機能をどう学校に備えておくのか、というのが大きく変わっている。なかなか改修で大きく変えるのは難しいが、新築であれば自由が効くと思うので、その辺りも十分検討してほしい。

〇田島町長

貴重なご意見ありがとうございました。本日お話を伺った内容を基に再編計画の策定を進めていきたいと思う。そして、この計画に沿って、白石町の子どもたちのより良い教育環境の充実ができますよう教育委員の皆様とともに連携して進めていきたいと思うので、今後ともよろしくお願いする。

続いて、その他の項に入る。
教育委員の皆様より何かないか。

〇堤委員

全く関係ない話だが、ゴールデンウィークくらいに長崎の松浦市長さんが来訪されていると思うが、来年が元寇の文永の役から 750 周年ということで地域ネットワークを作ろうと九州各県を周られている。白石は白石六郎通泰という竹崎季長が書かせた「蒙古襲来絵詞」の中で、ピンチになった竹崎季長を助けたとあり、元寇の中でもヒーローという扱いなのだが、町民の皆さんもあまりご存じではない。この機会に町の方でも周知検討してはいかがか。

〇田島町長

検討させていただく。他になければ司会を事務局に戻す。

〇筒井財政課長補佐

これをもって令和 5 年度第 1 回白石町総合教育会議を閉会とする。